

2021 年度 玉川学園高等部入学試験問題

国 語

(注意事項)

- (1) 試験時間は 50 分間、配点は 100 点満点です。
- (2) 問題用紙は冊子 1 部、解答用紙は 1 枚です。
- (3) 解答用紙の受験番号欄には受験番号のみを記入して下さい。
- (4) 解答は、すべて別紙の解答用紙の所定欄に記入して下さい。
- (5) 解答用紙の*欄には、何も記入してはいけません。
- (6) 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないで下さい。
- (7) 印刷が不明瞭な場合をのぞいては、質問を受け付けません。

【二】 次の問いに答えなさい。

問一、次のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 土壤オセン。
- 2 運動会でオウエンする。
- 3 試行サクゴ。
- 4 お金をカセグ。
- 5 足音をシノばせる。

問二、次の——線部の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。

- 1 布地を裂く。
- 2 お土産を渡す。
- 3 本を検閲する。
- 4 昔を懐かしむ。
- 5 詐欺にあう。

問三、次の短文について、それぞれの問いに答えなさい。

一九六四年、オリンピック開催に^①沸く東京では、集団就職するために地方より東京に^a来た若者が^②夢とあこがれを胸に抱いていた。^③

- 1 ——線部①～③の品詞を、次の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア 名詞 イ 形容詞 ウ 動詞 エ 助詞 オ 助動詞

- 2 ——線部a「より」の働きとして最もふさわしいものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 比較の基準を示す。 イ 変化の結果を示す。 ウ 範囲の限定を示す。 エ 動作の起点を示す。 オ 動作の手段・方法を示す。

- 3 ——線部b「来」という動詞について、活用の種類と活用形を答えなさい。

【三】 次の【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】はどちらも平野啓一郎『カッコいいとは何か』の一部である。これを読んで後の問いに答えなさい。
本文中の太字部分は原文通りである。設問の都合上、表記を改変している部分がある。

【文章Ⅰ】

「**恰好かっしょうが良い**」の使用例を見てみると、まず気がつくのは、それが 1 に対しては用いられておらず、基本的に**人間のすること、作ったもの**に対して**使用されている**、ということである（但し、庭木やペットなどのように、一度、人間の生活に入った動植物は、その評価の対象になる）。つまり、自然美という人間には手出しの出来ない世界が基準とされているわけではなく、「恰好」の理想像は、2 **的なもの**だ、ということである。

そうなる、その人為的な理想は誰が作っているのか？ そして、その適合具合は誰が判断するのか？

美に関して、^{*}ヒュームはそれを「批評家」だと言った。江戸時代や明治時代の「恰好が良い」は、果たしてどうだっただろうか？

和菓子職人の例で言うと、師匠は勿論、批評家ではないが、知識と経験から、その判断力を体得している。しかし、新米の弟子にはまだ難しいだろう。菓子職人ではないが、^{*}茶人には当然、「恰好が良い」和菓子がわかるはずである。あるいは、^{*}ディレッタント的な**普通人**の中にも、「恰好の良し／悪し」がわかる人がいただろう。

通りすがりの若い女性の髪型はどうか？ こちらは、その「恰好が良い」の趣味が、より一般に開かれている。それでも、誰でも判断できるわけではなく、やはり髪型についての一定の知識が必要で、基本的には子供よりも大人の方が、よりの確に「恰好が良い」かどうかを見極められるはずである。

つまり、それぞれの**ジャンル毎に理想があり、それと対象との合致具合には程度があり、それを判断する人にも序列がある**、ということである。決して、どんな人間にも共通した、**自然な趣味がある**、というわけではない。

では、その理想は、どのようにして共有されていたのだろうか？

① ここで、考えるべきはメディアの存在である。同時に、「恰好が良い」と「カッコいい」との違いについても、そろそろ考えていこう。

「恰好が良い」という言葉は、これまで見てきた通り、江戸時代に生まれて、そのまま今日にまで至っているが、一九六〇年代に「カッコいい」が爆発的に流行したほど、日常会話で多用されていたわけではなかった。

なぜか？

一つには、何が「恰好が良い」のか、それを社会的に共有するメディアが限定されていたからである。

和菓子職人の師匠は、代々受け継がれてきた「恰好が良い」和菓子を目にする機会があるからこそ、その理想形を知っている。また、常連の顧客のみならず、茶人や通人、^{*}目利き、^{*}見巧者と呼ばれる人たちも、基本的には、自分の目で見て、手で触り、味を確かめることで、その趣味を洗練させていったのだろう。つまり、「恰好が良い」ものの理想は、理想的な「恰好が良い」ものによって教えられる、というわけである。従って、江戸の菓子職人の理想が、北海道から九州まで全国 3 に共有される、ということはまず以て不可能だった。

しかし、今日私たちは、テレビや雑誌、インターネットといったメディアを通じて、ある程度、どういった和菓子が「恰好が良い」かを知っているのである。「恰好が良い」が、直接的な対人関係の中で、^a具体的な事物に接して発せられる言葉だったのに対し、「カッコいい」は、マスメディアによって、その理想の共有を匿名の人間の間まで浸透させ、全国規模に拡大した。和菓子の理想像は、なるほど、メディアを通じて、多くの人に共有されることになったであろう。従って、「カッコいい」という言葉の中には、「恰好が良い」という意味も残存している。

A、他方で、更に国内ばかりか外国との情報交換まで盛んになり、一般の参入者も増え、「カッコいい」は多様化し、同時に競争を激化させていった。伝統ある和菓子職人の洗練された「恰好が良い」という趣味は、ビジネス的には、新時代の職人の「カッコいい」という感覚に敗北することもあり得るのである。

「恰好が良い」は、飽くまでジャンル毎の理想像だが、2「カッコいい」はジャンルを横断する、あるいはジャンルを超越した理想像である。

子供たちに、何を「カッコいい」と思うか、と訊ねるアンケートは、特に違和感がない。しかし、何が「恰好が良い」かという問いは、ナンセンスである。B、「恰好が良い」は、目の前の和菓子が理想に合致しているかどうか、という判断であり、スポーツカーと和菓子、どっちが「恰好が良い」か、といった、まったく異ジャンルに属するもの同士の比較は、不可能だからである。勿論、数あるスポーツカーの中で、どれがより、「恰好が良い」か、と判断することは可能である。

3 だからこそ、子供たちは、自由な「カッコいい」和菓子は作ることが出来ても、「恰好が良い」和菓子は作れないのである。但し、先ほども触れた通り、「カッコいい」は、「恰好が良い」という意味を吸収している。C、「今日の髪型、カッコいいね。」という日常会話は普通だが、

これは江戸時代に髪型を表して言った「恰好が良い」と同じであり、ある理想像との合致を意味している。しかし、「カッコいい」にはそれとは違った独自の新しい意味があり、だからこそ、「カッコいい」ものを訊ねて、子供が「髪型」と答えるのはオカシイのである。

つまり、一九六〇年代以降、今日に至るまで、「カッコいい」は、スポーツカーとカラーテレビ、^{*}ネイマールとEXILE、^{*}バーキンと困っている人を、さりげなく助けること（！）とを、同列に並べて、何が一番かを比較し得るような新しい意味を獲得した、ということになる。

それこそが、^{*}私たちが第1章で確認した「カッコいい」であり、それは必ずしも「恰好が良い」から直接に派生した意味ではないのである。「恰好が良い」から「カッコいい」へと変化する間に起きた最も大きな出来事と言えば、当然に第二次世界大戦である。この総動員体制の経験の影響は、非常に複雑である。

とりあえず、こういう見当はつくだろう。

ヨーロッパは市民社会の成立によって、ブルジョワたちの個人主義とそれに基づく趣味判断の多様性を是認した。^④その時、問題とされたのは、芸術の「美」であった。他方、戦後は、その個人主義が、ロックに象徴される新しい文化を中心に、労働者階級の若者たちを主役として再燃することとなる。それが、大西洋を横断しながら爆発的なブームを巻き起こしていく。敗戦^⑤によって、天皇に一元化された総動員体制から解放された日本人は、その潮流に巻き込まれながら、彼らの価値観を導入しつつ、「恰好が良い」を「カッコいい」へと更新し、自分たちの理想としたのである。

【文章Ⅱ】

「カッコいい」存在は、私たちの憧れを引き起こし、同化・模倣願望^{もほう}を掻き立てる。それは、新鮮な驚きを伴っており、新しい価値観で私たちの目を開かせ、人生の方向性を示してくれる。

そう考えれば、彼らは自分たちからは懸け離れた存在のようだが、実際には、「あれが僕の求めているものだ」と直ちに感じさせるような強い共感をも催させる。これまで自分ではうまく表現できず、誰からもその価値を認めてもらえていなかった何かを共有していて、それを、「まさにこれだ！」と興奮するほど、ズバリと表現している。

私たちは、つまらない存在に自分を投影すると落ち込むが、「X」存在は、私たち自身を極めて魅力的に代弁し、私たちには価値があることを示してくれる。

「カッコいい」存在は、私たちを引き受けてくれる味方である。

だからこそ、彼らは尊敬され、感謝の対象となり、また、私たちの延長上に存在するお手本となるのである。

ここから、私たちは、これまで別個に考えてきた「恰好が良い」と「カッコいい」とを接続するメカニズムを説明できるだろう。^⑥

「恰好が良い」の場合、事前に理想像がハッキリしていて（和菓子の例）、それとの合致の程度が判断された。他方、「カッコいい」は、事前にそうした理想像がなくとも、「しびれる」ような体感によって対象を評価できた（*クラブトンにとってのエルヴィス）。

両者がいつも結びつくわけではない。しかし、「カッコいい」存在が、自分との共通点を備えている時、私たちは彼らを「Y」人間として理想化し、同化・模倣願望を掻き立てられる。これは、「しびれる」ような快感の反復という観点からの同化・模倣願望とは、区別されるべきだろう。

ロックを例にこの話をしてきたが、私自身の文学体験について少し触れたい。

私は高校時代、*小林秀雄が翻訳した*ランボオの『地獄の季節』を肌身離さず持って愛読していた。ともかく私は、この難解な散文詩集に甚く感動していたのだが、例えば、こんな件である。

俺は旅をして、この脳髓の上に集まり寄った様々な呪縛を、祓^{はら}つてしまわねばならなかった。俺は海を愛した。この身の穢^{けが}れを洗ってくれるものがあつたなら、海だつたに相違ない。俺は海上に慰安の十字架の昇るのを見た。俺は虹の橋に呪^{のろ}われていたのだ。『幸福』は俺の宿命であつた、悔恨であつた、身中の虫であつた。幾時^{いつ}になつても、俺の命は、美や力に捧げられるには巨^{おお}き過ぎるのかも知れない。

私は、この詩集を読んでいる間、終始、「しびれ」っぱなしだつた。ランボオの翻訳は、今日に至るまで、もつと正確なものが幾つも出ているが、「カッコよさ」で言うならば、小林訳は未だにダントツだろう。

こんな詩は、私にとつてまったく未知^bであり、新鮮だつた。ランボオは、とても当時の私^{おな}と同じ年くらいとは思えない早熟の天才だつた。

しかし、ここに書かれてあることは、何かにつけて思い悩むことが多く、美に憧^{ひそ}れ、酷く多読になつたものの、結局、そういう自分を持って余して悶々^{もんもん}としていた私には、何と云うのか、痛切に「わかる」と感じられたのだつた。私は本^{ほん}当に独りで旅に出て海を見たくなつたし、また、こんな文章を書けるようになりた^{なり}いと強く願つたのである。

⑦ この憧れと共感、遠ざと近さという矛盾の同居こそが、私たちにとって「カッコいい」存在を特別に感じさせる秘密である。私たちが、「カッコいい」存在をただ消費して終わるだけでなく、「恰好が良い」存在として理想化するの、彼らを通じた自己^{おの}発見の故^{ゆえ}であり、また自己^{おの}発展の可能性を見出すからである。

この共通点がなければ、どれほど生理的興奮を与えてくれても、私たちは対象を「カッコいい」とは感じない。ジェットコースターや吊り橋を「カッコいい」と言う人はいないだろう。しかし、*フェラーリなら、車に乗るといふ自らの生活の延長上に見ることが出来るのである。

(注)

*ヒューム……………デイヴィッド・ヒューム。一八世紀に活躍したイギリス出身の哲学者。

*茶人……………茶道チャウドに通じた人。

*ディレッタント……………専門家ではないが芸術や学問を趣味として愛好していること。

*通人……………ものごとによく精通している人。

*目利き……………物の価値や真偽などを見分ける能力、またはその能力を持つ人。

*見巧者……………特に芝居を見ることに精通している人。

*ネイマールとEXILE、バーキン……………いずれも近年の多くの若者が「カッコいい」と感じる対象。ネイマールはブラジルのサッカー選手。

EXILEはダンスボーカルグループ。バーキンはファッションブランドによるハンドバッグの一つ。

*私たちが第1章で確認した「カッコいい」であり……………本書の第1章は『「カッコいい」という日本語』という章タイトル。「カッコいい」ものには

どのようなものがあるか、さらにその条件をまとめている。

*ブルジョワ……………中世ヨーロッパにおいて、貴族・聖職者と農民・労働者との中間の階級に位置した市民・商工業者。

*ロック……………ロックンロール。一九五〇年代にアメリカから世界中に流行したポピュラー音楽。

*クラブトンにとつてのエルヴィス……………エリック・クラブトンとエルヴィス・プレスリーはミュージシャン。クラブトンはエルヴィスに憧れてギター

をはじめた。

*小林秀雄……………日本の文芸・芸術評論家、編集者、作家。

*ランボオの『地獄の季節』……………フランスの詩人アルチュール・ランボオが一八七三年に出版した詩集。当時ランボオは一八歳だった。

*フェラーリ……………イタリアの自動車メーカー。ここではそのメーカーが製造した車を指す。

問二、・に入れるのに最もふさわしい言葉をそれぞれ次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 批評 イ 社会 ウ 日常 エ 知識 オ 自然

問二、——線部①「ここで、考えるべきはメディアの存在である」とあるが、本文におけるメディアの役割の説明として最もふさわしいものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア あらゆる人々に働きかけることで、人々の中にある「恰好が良い」ものの理想像を一致させることができる。

イ 「恰好が良い」ものの理想像を広めることによって、「カッコいい」ものとの差別化をはかることができる。

ウ 「カッコいい」と言われる技術や商品を広く紹介することで、人々の生活の質を向上させることができる。

エ 多くの「カッコいい」ものを広く伝えることによって、「カッコいい」ものの多様化と競争をうながすことができる。

オ 様々なものの理想像を発信することで、「カッコいい」ものを「恰好が良い」ものへと塗りかえることができる。

問三、に入れるのに最もふさわしい四字熟語を次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 因果応報 イ 津々浦々 ウ 海千山千 エ 千変万化 オ 花鳥風月

問四、——線部a「具体的」(P.4)・b「未知」(P.6)の対義語をそれぞれ漢字で答えなさい。

問五、 に入れるのに最もふさわしい言葉をそれぞれ次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ なぜなら ウ あるいは エ つまり オ また

問六、——線部②「**カッコいい**」はジャンルを横断する、あるいはジャンルを超越した理想像である」とあるが、これを説明した次の文のに入る言葉を【文章I】より二〇文字で抜き出して、最初と最後の三文字を答えなさい。

「**カッコいい**」と感じる理想像は、をしていくことによって判断されるものである。

問七、——線部③「子供たちは、自由な「カッコいい」和菓子は作ることが出来ても、「恰好が良い」和菓子は作れないのである」とあるが、子供たちが「恰好が良い」和菓子を作れないのはなぜか。二〇文字以上三〇文字以内で説明しなさい。

問八、——線部④「それ」とあるが、これは何を指すか。五文字以内で答えなさい。

問九、——線部⑤「敗戦」とあるが、一九四五年に終戦を伝えるラジオ放送が行われ、現在日本において平和を祈念する日となっているのは何月何日か。漢数字で答えなさい。

問十、X・Yに入れるのに最もふさわしい言葉をそれぞれ次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア カッコいい イ 恰好が良い

問十一、——線部⑥「恰好が良い」と「カッコいい」とを接続するメカニズム」についての説明として最もふさわしいものを次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「カッコいい」対象と「恰好が良い」対象は本来別であるが、「しびれる」体験を通じて、両者が近接して同化していくことになる。

イ 「カッコいい」と感じた存在に対して、さらに自己との関わりを強く感じた場合に、「恰好が良い」存在として理想化することになる。

ウ 「カッコいい」存在に感謝することで、その対象を尊敬することにもなり、「恰好が良い」理想像として人生の目標になっていく。

エ 「カッコいい」と感じるだけでなく世間に広まることで、多くの人に共有される理想像となり、「恰好が良い」存在へと転じることができる。

問十二、——線部⑦「この憧れと共感、遠さと近さ」という矛盾の同居」とあるが、筆者が体験した「遠さと近さ」という矛盾の同居」とは具体的にどのようなものであったか。なるべく簡潔に説明しなさい。

問十三、次の説明について、本文の内容と合致するものには○を、合致しないものには×を答えなさい。

1 【文章Ⅰ】では「恰好が良い」から「カッコいい」への歴史的な推移を述べ、【文章Ⅱ】では個人において「カッコいい」から「恰好が良い」へと転じる場合があることを述べている。

2 「恰好が良い」あるいは「カッコいい」と感じるためにはそれぞれ違う知識を必要とするので、その感覚を両立させるには深い読書体験によって判断力を養うべきだと筆者は主張している。

3 「カッコいい」という感覚は、普遍的であるためどんな対象についても持ちえるものであり、また「恰好が良い」感覚にも勝るような強烈な刺激を人々にもたらすものである。

【三】 次の古文は徳大寺の大臣（藤原実能）が讃岐（現在の香川県）の長として赴任した後、神聖な熊野の山（現在の和歌山県）に

参拜に出かけた時の話である。徳大寺の大臣は多くの人夫（付き人となる労働者）を従えて出かけることになったが、その人夫の数が多すぎたので、あまった数人が送り返されることになった。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。設問の関係上、原典の表記を改作している部分がある。

或る人夫一人頻りに歎き申しけるは、「たかき君の御徳によりて幸ひに熊野の御山をかみたまつらんことを悦び思ひつるに、あまされまゐらせて帰り下らんことかなしきことなり。ただまげて召し具せさせ給へ」と奉行の人にいひければ、「さりとはあまりたれば、さのみは何の用にせんぞ」といひければ、泣く泣くうれへて、「ただ御功徳に食ばかりを申し与へ給へ。いかにも宮つかひは仕り候ふべし」と、ねんごろに申しければ、哀れみて具せられけり。げにもかひがひしく宿々にては人も掎てねども、諸人が垢離の水をひとりどと汲みければ、「垢離棹」と名付けて、人々もあはれみけり。さて、大臣参り着き給ひて、奉幣はてて、証誠殿の御前に通夜して、参詣のこと随喜のあまりに、大臣の身に藁沓はばきを着して、長途を歩みまゐりたる、ありがたきことなりと、心中に思はれて、ちとまどろまれたる夢に、御殿より高僧出で給ひて仰せられけるは、「大臣の身に、わら沓はばきして参り、ありがたきことに思はるること、この山のならひは、院、宮みなこの礼なり、あながちに独り思はるべきことかは。垢離棹のみぞいとほしき」と、仰せらるると見給ひてさめにけり。驚き恐みて、その棹のことを尋ねらるるに、しかじかとはじめよりの次第申しければ、あはれみ給ひて、国に屋敷など永代限りて宛て給ひけり。いやしき下臈なれども、心をいたせば、神明あはれみ給ふことかくのごとし。

（『古今著聞集』新潮日本古典集成による）

（注） *ただまげて召し具せさせ給へ……ぜひともお連れになつてください。

*宮つかひ……身分の高い人への奉公。

*奉幣はてて……神仏に物品をお供えし終わって。

*藁沓はばき……長時間の歩行のための装い。

*神明………神さま。

*奉行の人………人夫に指図をしている人。

*垢離………神仏に祈るため水を浴びること。

*随喜………大いに喜ぶこと。

*宛て給ひけり……授けなされた。

問一、——線部A「いひけれ」を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。

問二、——線部⑧「いやしき」の本文中の意味として最もふさわしいものを選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 資産が多い
- イ 身分が低い
- ウ 信仰心が無い
- エ 忠誠心が強い

問三、——線部②・⑤の現代語訳（口語訳）として最もふさわしいものをそれぞれの選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

②「ねんごろに申しければ」

- ア 慎ましく申告に耳を傾けると
- イ 心を込めて申し上げたところ
- ウ 力強く恨みを伝えたところ
- エ 何となくお話をしていると

⑤「あながちに独り思はるべきことかは」

- ア 特別に身分の高い人と言るのはあなただけです
- イ 特別な機会をもってあなたと会いたいです
- ウ 特別にあなた一人がそう思われることでもありません
- エ 特別なあなたの行動を皆が勘違いしているのです

問四、——線部③「哀れみて」⑥「驚き恐みて」の主語として最もふさわしいものをそれぞれ次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア 徳大寺の大臣（藤原実能）
- イ 或る人夫（垢離棹）
- ウ 奉行の人
- エ 諸人
- オ 高僧

問五、——線部①「あまされまゐらせて帰り下らんことかなしきことなり」とあるように、或る人夫は讃岐に送り返されることを悲しんでいるが、ここで彼が悲しんでいる理由は何か。簡潔に説明しなさい。

問六、——線部④「人々もあはれみけり」とあるが、その理由の説明として最もふさわしいものを選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア 或る人夫が大臣には見つからないように行動し続けられたから。

イ 或る人夫が誰よりも早く起床しなければならなかったから。

ウ 或る人夫が「垢離棹」という素晴らしい名前を与えられたから。

エ 或る人夫が自らの意志できびきびとみんなの水を汲み続けたから。

オ 或る人夫が奉行の人に訴えたことが人々にも伝わったから。

問七、——線部⑦「国に屋敷など永代限りて宛て給ひけり」とあるが、大臣がこのような行動をした理由を三〇文字以上四〇文字以内で説明しなさい。

問八、この話の主題として最もふさわしいものを選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

ア たとえ貧しくとも信仰心があれば、身の丈にあった幸せな生活を送ることができる。

イ どんなに偉い人でも謙虚な心で人々の声に傾けないと、神罰によって必ず没落させられる。

ウ 信仰心を強く持ち他人のために行動し続けられれば、神仏にも人々にも理解され認められる。

エ 夢に出てくる神仏のお告げに耳を傾ければ、不幸な将来を予見し対策を練ることができる。

オ 身分の違いによって服装などの見た目に差があっても、神仏の前では人間性だけが試される。

問九、この文章の出典である『古今著聞集』は説話集である。同じく説話集であるものを次の選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『徒然草』

イ 『竹取物語』

ウ 『奥の細道』

エ 『平家物語』

オ 『宇治拾遺物語』